

中性子産業利用セミナー

これまでは、中性子散乱は学術研究での利用が中心でありましたが、分子・原子の構造や運動を精緻に測定できます中性子散乱は新たな機能性物質開発や高性能素材開発に向けた産業利用に大きな期待が集まっております。日本中性子科学会年会在平成24年12月10日(月)、11日(火)の両日京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館において開催されます。中性子の研究者が一堂に会する機会に、産業界の研究・開発者にもご参加いただき、中性子の産業利用の可能性を産業界と学術界双方から議論する場として本セミナーを企画いたしました。

開催日時	2012年12月10日(月) 12:30~15:00
開催場所	京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館国際ホールⅡ
主催	日本中性子科学会、一般財団法人 総合科学研究機構
共催	日本原子力研究開発機構、 中性子産業利用推進協議会、J-PARC/MLF 利用者懇談会
協賛	高輝度光科学研究センター
参加費	無料(同時開催されます中性子科学会への参加には入会手続・参加登録が必要)

プログラム

- (12:30-13:00) 中性子の産業利用の実例 石井慶信(放射線利用振興協会)
 - (13:00-14:00) 中性子利用への期待:産業界からのニーズと中性子科学
**)学会・装置側は産業界側の報告者確定後・内容を確認し最適なコメンテーターを依頼
2-1. <無機材料>;伊藤(AGCセイミ) × <学・装置コメンテーター>**
2-2. <食品工業>;南部(太陽化学) × <学・装置コメンテーター>**
2-3. <化学(接着)>;丹治(花王) × <学・装置コメンテーター>**
- ***** 中性子科学会総会・開始(隣室) *****
- (14:10-14:25) 中性子で見えるもの。放射光で見えるもの。
高田昌樹(高輝度光科学研究センター)
 - (14:30-15:00) 有機結晶の解析へのJ-PARCおよびSPring-8利用への期待(仮題)
北川進(京都大学)